



令和5年1月13日

市政記者クラブ様

経済局イノベーション推進部次世代産業振興課
担当：臼井、葛島 電話：972-2420
(名古屋経済記者クラブ同日発表)

令和4年度フィールド活用型支援事業「Hatch Meets」実証プロジェクト



AIを活用した病害虫予測情報アプリケーションの社会実証を実施します！

このたび、フィールドを活用した社会実証を推進する産学官連携のネットワークコミュニティ「Hatch Meets」において、実証プロジェクトを立ち上げ、下記のとおり社会実証を実施しますので、取材していただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1 プロジェクトの概要

各地の気象データや病害虫の診断履歴などから、AIによる病害虫の発生予測を行い、その予測の状況や適合農薬などの情報を提供するアプリケーションの社会実証を実施します。このアプリケーションにより、農薬散布量や回数を減らし、材料費と人件費のコストカットを図るとともに、環境に優しい農業の実現を目指します。

2 実施主体

(1)フィールド 緑政土木局農業センター

(2)事業者 株式会社ミライ菜園

3 実証内容

(1)実証期間

令和5年1月16日～令和5年3月31日

(2)実証方法

農業センターにおいて、栽培する野菜について、アプリケーションから病害虫発生予測等の通知を受け取ります。現場での病虫害の発生の有無などについて、ミライ菜園へフィードバックし、予測の精度確認やアプリケーションの改善を行います。

※令和4年度第7回 Hatch Meets 全体会において、本実証内容について紹介します。

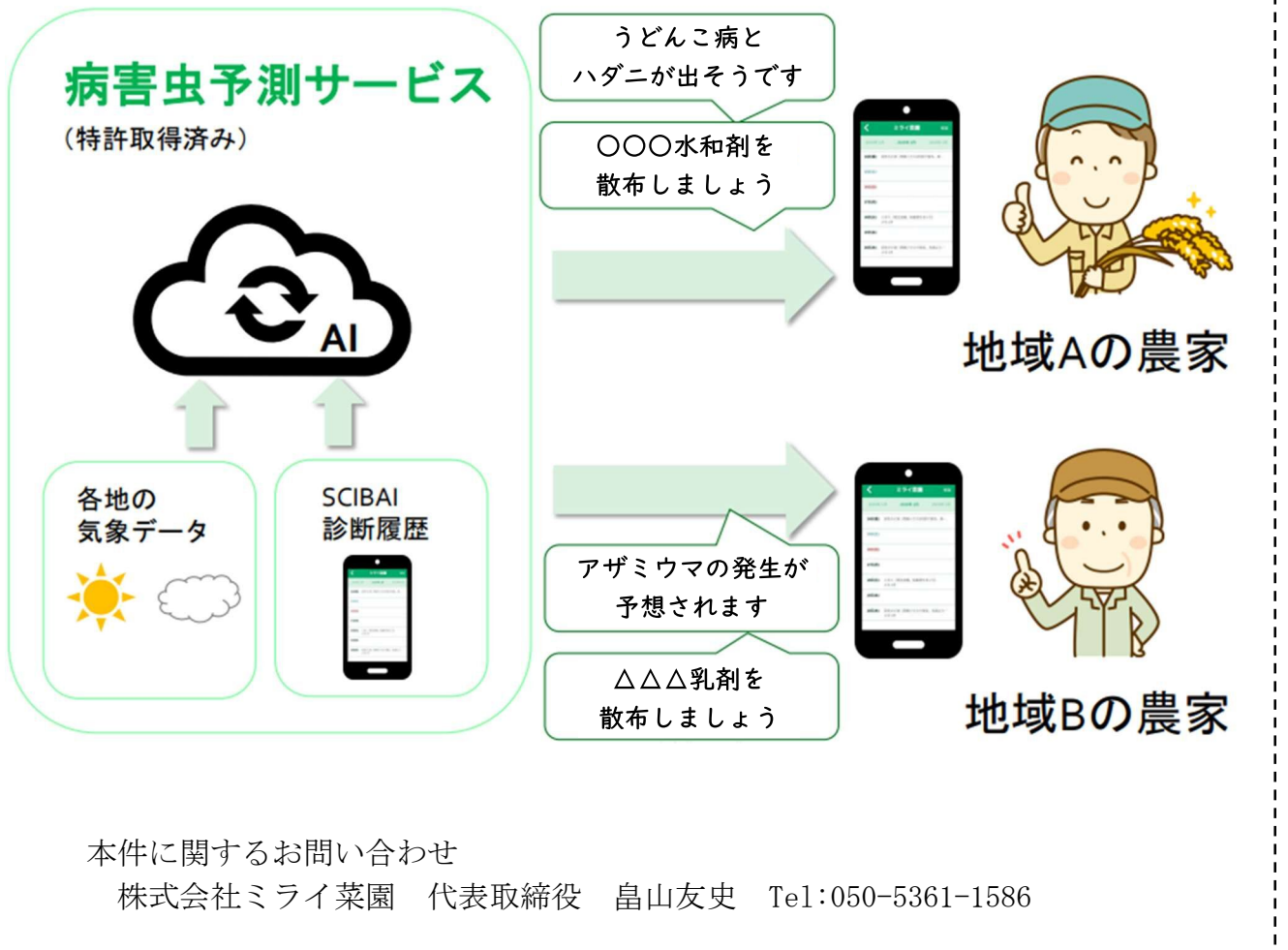
日時：1月20日（金）13:30～15:30

場所：ナゴヤイノベーションズガレージ（中区栄3-18-1 ナディアパーク 4F）

4 その他

現地取材にお越しいただける場合は、次世代産業振興課までご連絡いただきますようお願いいたします。

病害虫予測情報アプリケーションを用いた事業イメージ



【参考】「Hatch Meets (ハッチミーツ)」(フィールド活用型支援事業)について

本市及び民間施設等を社会実証の場(フィールド)として活用するため、場の提供と課題の整理・解決をするネットワークコミュニティ「Hatch Meets」を産学官で立ち上げ、先進技術を有する企業等の提案や実証ニーズを実現するものです。

先進技術の実証ニーズを持つ企業及びフィールドを提供いただける企業を随時募集しております。

